

原則 / 早めの避難

台風が近づいて 風が強くなる前、浸水の前、安全な場所へ

台風が接近すると、強風で屋外に出ることが大変危険になります。風が強くなる前に早めの避難をしましょう。

どこへ？

- 例えば・・・ ◎高潮に対応した予定避難所
- ◎親戚、友人宅など、市内に限らずより安全な場所
- ◎海から離れた高い建物



逃げ遅れたら / その場そのときで命を守る行動を

風が強くなった後や浸水した後は、より高い場所へ

どこへ？

- 例えば・・・ ◎高い建物や高い場所
- ◎自宅の高いところ
- ◎予定避難所に限らず、近くの安全なところ

！ 台風情報に注意

台風の接近が予想される場合、台風の進路や勢力に関する情報が気象庁から発表されます。

- 台風発生
- 九州上陸
- 台風接近

- 台風経路図**
5日先までの台風の進路が発表されます。
- 台風情報**
台風の位置や強さなどが発表されます。
- 暴風域に入る確率**
25m/s以上の暴風域に入る確率が分布図と棒グラフで発表されます。

台風情報は気象庁ホームページ (P.42) で確認しましょう

注意

台風の接近による強風で、屋外に出て避難することが危険な場合があります。暴風の避難への影響を P.16 で確認しましょう

！ 暴風警報に注意

暴風により災害が発生するおそれがあるときに気象庁から発表されます。

- 強風注意報**
強風により災害が発生するおそれがあるときに発表されます。
- 暴風警報**
暴風により重大な災害が発生するおそれがあるときに発表されます。
- 暴風特別警報**
暴風により重大な災害が発生する可能性が非常に高まっているときに発表されます。

！ 高潮警報に注意

台風等によって海面が上昇し、沿岸で災害のおそれがあるときに気象庁から発表されます。

- 高潮注意報**
台風等による海面の上昇によって、沿岸で災害の起こるおそれがあるときに発表されます。
- 高潮警報**
台風等によって海面が上昇し、沿岸で重大な災害の起こるおそれがあるときに発表されます。
- 高潮特別警報**
台風等によって海面が上昇し、沿岸で重大な災害の起こる可能性が非常に高まっているときに発表されます。

気象情報の入手方法は P.41 ~ P.42 で確認しましょう

高潮とは？

高潮発生のしくみ

高潮は、

- ①気圧低下による海面の上昇(吸い上げ)
 - ②風で押し寄せる波(吹き寄せ)
 - ③満潮時間との重なり
- の3つの要因で発生します。

①気圧による海面上昇(吸い上げ)

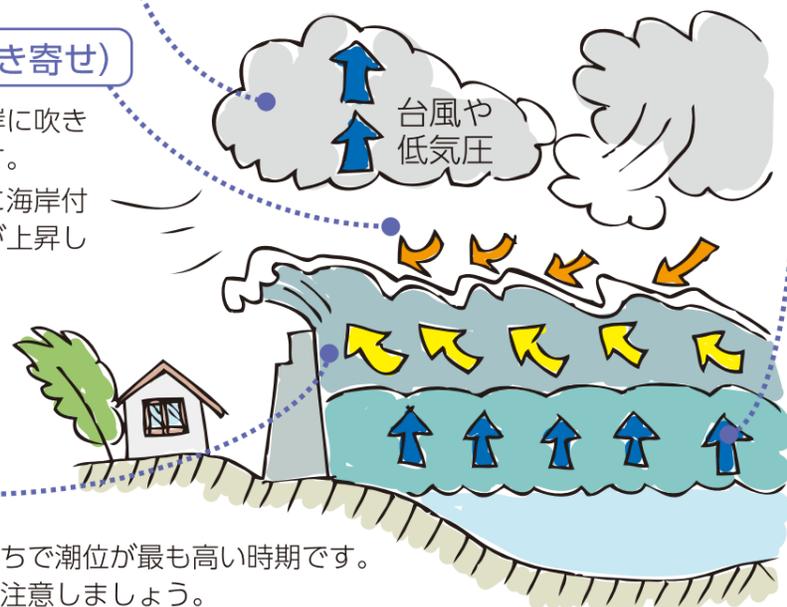
気圧が1hPa低下すると、約1cm海面が上昇します。例えば、台風の接近によって気圧が1000hPaから950hPaになることによって海面は50cm上昇します。
※hPa:ヘクトパスカル

②風で押し寄せる波(吹き寄せ)

台風による強い風で海水が海岸に吹き寄せられて、海面が上昇します。押し寄せた波が、沖に戻れずに海岸付近にたまるようになり、海面が上昇します。

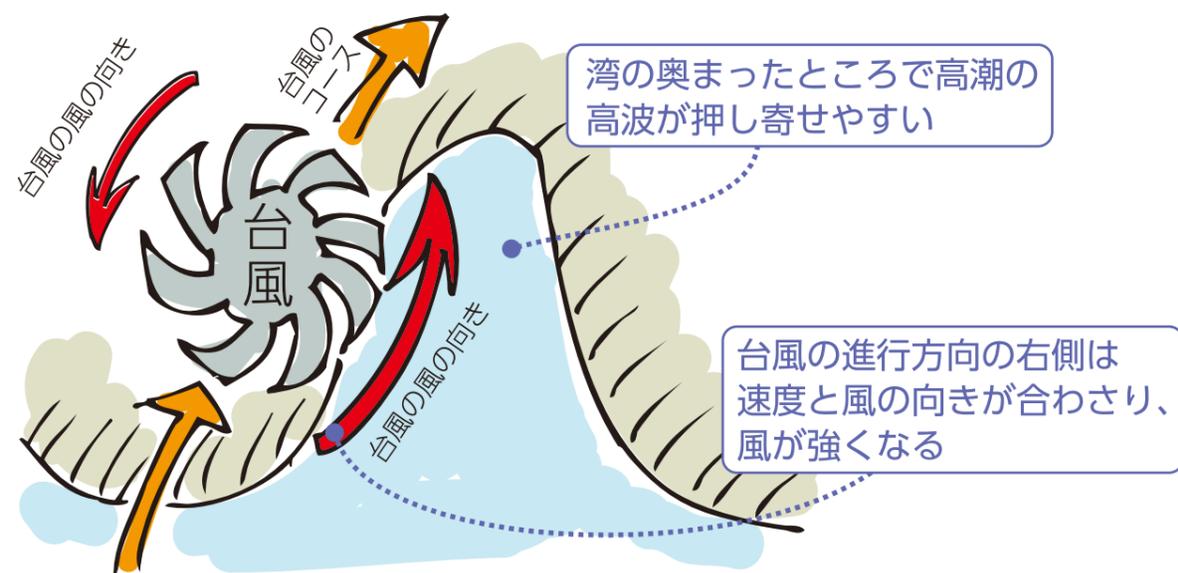
③満潮時間との重なり

夏から秋にかけては、一年のうちで潮位が最も高い時期です。台風の接近時には満潮時間にも注意しましょう。



台風のコースと高潮や風の関係

波の高さや風の強さは、台風のコースの影響を受けます。特に台風の進行方向の右側に位置しているところや湾の奥では、大きな高潮被害が発生することがあります。



風の強さが避難に与える影響

風の強さ(予報用語) 平均風速(毎秒)

やや強い風 10m~15m 未満

風に向かって歩きにくくなる。高速運転中では横風に流される感覚を受ける。

強い風 15m~20m 未満

風に向かって歩けなくなり、転倒する人もいます。高速道路での運転が困難。

非常に強い風 20m~25m 未満

何かにつかまっていないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。通常で運転するのが困難になる。

非常に強い風 25m~30m 未満

屋外での行動は極めて危険。走行中のトラックが横転する。

猛烈な風 30m 以上

多くの樹木が倒れる。ブロック塀や住家が倒壊を始める。



過去に発生した高潮災害

過去にも、昭和9年の室戸台風や昭和17年の周防灘での台風また昭和34年の伊勢湾台風などの大型の台風に伴い、高潮による大きな被害が発生しています。

北九州市においても、平成11年の台風第18号により、門司区、小倉南区の周防灘沿岸部を中心に浸水被害が発生しています。



平成11年9月台風第18号の経路図



平成11年9月門司区